



精神分析セミナー（系統講義）アドバンス

主催 精神分析的心理療法セミナーみえ



企画

平井 正三^{*}

御池心理療法センター

鈴木 誠^{*}

くわな心理相談室

12年度募集

日時	毎月第4土曜日 年 10回 18:30~21:00
参加資格	臨床心理士 心理職 社会福祉士 精神科医 心理系大学院生
募集	14名
会場	くわな心理相談室 桑名駅下車徒歩1分
参加費	¥85,000 (税込み)

*1 日本精神分析学会認定スーパーバイザー・認定心理療法士

現代的な観点から、原典を読み解いていくこと

この講義では、できるかぎり原典を読み解きながら、現代的な観点から系統的に精神分析の理論を学んできました。臨床家が必要な理論の力を高めるには、原点のもつ深みが重要だと考えているからです。難解な原典をひとりで読むのには、忍耐力がいります。時代背景や現代精神分析の理解がなくては、誤読や単なるテキストの解説になってしまい、臨床にはつながっていません。

今期は、再び、ビオンの理論を訪ねます。このセミナーでは、以前にもビオンの著作に挑戦しました。ビオンのアイデアが、現代精神分析や幅広い応用精神分析の分野にも深く浸透していて、臨床家には必須の理論だと考えたからです。しかしあまりにも難解なビオンの著作を前に、このビオンへの挑戦は、消化不良に陥りました。

そこで今回は、まずシミントンによる現代的なビオン理解を下敷きにしようとしました。これを足がかりにして、ビオンの「情緒的経験から学ぶ」や「精神分析の要素」、さらに「変形」や「注意と解釈」に迫ります。

●少人数で、じっくりと討論をしながら、臨床につなげる講義

それぞれの講義では、参加者から担当を決め、必読文献の内容を要約し、疑問や考えなどを発表します。これを皮切りにして講師を中心に、講義のテーマに沿って、臨床経験や考えを他の参加者とともに討論するという形で進めていきます。講義への能動的な参加によって、より深く理解し、臨床につなげることを目指します。

12年度「ビオンの著作に迫る準備」講師：平井 正

No.	講義内容	必読文献：ビオン臨床入門（シミントン）金剛出版
1	歴史的状況と人物	第1章ビオンとフロイト・クラインの理論的断絶・第2章人物
2	情動体験とグリット	第3章情動の媒体・第4章グリット・第5章神話とグリット
3	アルファ機能	第6章容器/内容・第7章アルファ機能
4	思考の診断	第8章思考の診断・第9章心的現実
5	思考の成長	第10章思考の成長
6	変形	第11章変形
7	グループの研究	第12章グループの研究
8	精神病	第13章精神病の現象学
9	分析的態度	第14章記憶なく、欲望なく
10	究極の現実	第15章究極的現実、神秘家、権威体制

13～14年度「情緒的経験から学ぶ」～「精神分析の要素」

No.	講義内容	必読文献:精神分析の方法Ⅰ(法政大学出版局)
1	概論	平井先生による講義
2	情緒的経験から学ぶ1	第1章因子と機能の定義～第4章意識と無意識を成立させるアルファ機能
3	情緒的経験から学ぶ2	第5章物質と愛情の分裂～第7章意識と無意識の障壁としての夢
4	情緒的経験から学ぶ3	第8章接触障壁について～第10章「奇怪な対象」とアルファ機能の逆転
5	情緒的経験から学ぶ4	第11章心的機能の二原則～第13章精神分析のための表記体系
6	情緒的体験から学ぶ5	第14章三つの情動的結合L・H・K～第16章K 結合一情動的経験として知ること
7	情緒的体験から学ぶ6	第17章抽象化について～第19章乳児の情動的経験とアルファ機能
8	情緒的経験から学ぶ7	第20章思考障害と消化モデル～第22章精神分析的対象の定式化
9	情緒的体験から学ぶ8	第23章「選択された事実」と科学的演繹体系～第25章モデルと限界
10	情緒的体験から学ぶ9	第26章思考作用のためのモデル～第28章-K一羨望と意味の破壊

No.	講義内容	必読文献:精神分析の方法ⅠとⅡ(法政大学出版局)
1	「精神分析の要素」概論	平井先生による講義
2	精神分析の要素1	第1章精神分析の要素の抽象～第3章要素の三次元—感覚・神話・情念
3	精神分析の要素2	第4章精神分析と孤立の感覚～第6章思考の生成諸段階
4	精神分析の要素3	第7章言明のグリットによる分類～第9章思考作用の発達過程と♂♀、PS↔D
5	精神分析の要素4	第10章エディプス状況について～第12章反転された展望
6	精神分析の要素5	第13章苦痛と成長、その回避～第15章患者の言明のグリットによる分類
7	精神分析の要素6	第16章情動の予感～第18章抽象化と♂♀、PS↔D
8	精神分析の要素7	第19章グリットと感情の分類～第20章精神分析の要素とグリット
9	「変形」概論	平井先生による講義
10	変形1	第1章変形理論の導入～第2章転移理論の拡張—硬直運動変形と投影変形

【申込方法】

事務局宛に、E-mail もしくはファックスで「系統講義」参加希望と明記して、氏名、所属・職種、住所、電話番号、メールアドレスを記載し、お申し込みください。

【締め切り】 2012年3月20日（定員になり次第、申込みを締め切ります。）

【申込先】

精神分析的心理療法セミナーみえ事務局

〒511-0811 桑名市東方山手通155-1 シャトレ桑名 201 くわな心理相談室

E-mail advance@mie-psychotherapy.net

FAX 058-295-6703（電話でのお問い合わせはご遠慮ください。）

●今回は12年度の申込みを受け付けます。13年度以後の申込みについては13年2月頃、改めてご案内します。
(ただし、当講座受講生、それに相当する他の系統講義の受講経験者に優先的に参加していただきます。)